

日祥運輸倉庫裁判 未払い賃金認め

宇都宮地方裁判所で三月十四日、日祥運輸倉庫事件の判決が下されました。未払い賃金請求部分については、組合員四人分付加金を含め約二千万円の未払い賃金を認め会社に支払いを命じました。

会社は時間外労働の賃金については、距離手当、歩合手当、ワンマン手当などの項目を設け、そのなかに含まれていると主張してき

しかし、組合員に対する解雇については会社側の主張を一部認め、妥当とする判断を示しました。

組合では今後の対応を弁護士と協議する予定です。

労働法改悪反対・春の中央行動

「労働法制改悪阻止」「安倍九条改悪反対」などを掲げて三月七日、国会で全国の仲間と連帯する春の中央行動が開催されました。

県本部からはエアケミ運輸支部の齊藤委員長、蓼沼運輸分会の築館執行委員、県本部石井書記長が参加しました。

衆議院議員会館で決起集会を開催、昨年国会でダンブ問題をとり上げていただいた日本共産党山添拓議員から国会報告、激励を受けました。

その後、県本部組合員から集めた労働条件改善に関する請願書二七筆を厚生労働省に提出しました。



「3・7中央行動」厚生労働省前で県本部代表

【組合員紹介】 西内裕仁さん(ダンブ支部)

がんばれ裕仁(ヒロヒト)



日本に来て2年で日本語ペラペラ。礼儀正しい好青年。

栃木県本部には、外国人組合員が10名います。国籍はブラジル、中国、韓国、スリランカ。少子高齢化による労働力不足が進行するなかで、外国人労働者の受け入れについて、日本も真剣に考える必要に迫られています。

日系ブラジル人の西内裕仁(ヒロヒト)さん(三十三歳)を紹介します。

福島県出身のお父さんが付けた名前だそうで日本への思いが込められています。「兄が日本でダンブの会社を起こしました。私はブラジルで学生(国際関係を専攻)をしていましたが、兄を頼って二年前に来日しました」。

「ブラジルでは大型車の運転経験はありませぬ。足利の自動車学校で免許を取りました。ブラジルは左ハンドルなので慣れるのに苦労しました。ダンブの仕事は時間が長くて大変ですが、やりがいがあります。ブラジルではサッカーをやっていました。休みの日は疲れて一日寝ています。ブラジル食材の店もあり便利です。長く日本で生活したいと考えています。国民年金も納めています(笑)」。

日本の労働市場は閉鎖的と言われています。その背景には、私たち国民の外国人労働者にたいする偏見があるのではないのでしょうか。文化、習慣の違いを認め合い互いに尊重しあえる社会が求められています。

健康診断会のお知らせ



毎年恒例となつていく春の健康診断会。今年受診希望者が増え、昨年は人数制限を行いました。大変混雑しご迷惑をおかけしました。

受診希望者は四月末日までに組合にご連絡ください。(人数制限あり)

【検査項目】

- 医師診察・血圧測定・尿検査(糖、蛋白)・計測(身長、胸囲、体重、視力)・聴力・胸部レントゲン・血液検査(貧血、肝機能、脂質、血糖)・心電図・胸囲

- ◎日時 5月13日(日) 午前9時～
- ◎場所 新吉水地区コミュニティセンター
- 住所 佐野市吉水駅前吉水駅前1-19-6 吉水郵便局隣
- ◎費用 組合員負担金四千元(※)

※検査費用は5,832円のうち組合が1,832円を補助し、組合員の自己負担は4,000円に設定しています。
組合員以外の受診希望者は実費5,832円(税込)のご負担をお願いします。

年々「自然災害」が身近になっています。組合が扱う全労済の「自然災害共済」なら、年間掛け金一万八千円で最大422万円まで補償(木造で風水害による床上浸水の場合)。ご検討ください。